



作・演出＝**中津留章仁**
 装置＝**乗峯雅寛** 照明＝**宮野和夫**
 衣裳＝**宮本宣子** 効果＝**岩田直行**
 舞台監督＝**風間拓洋**

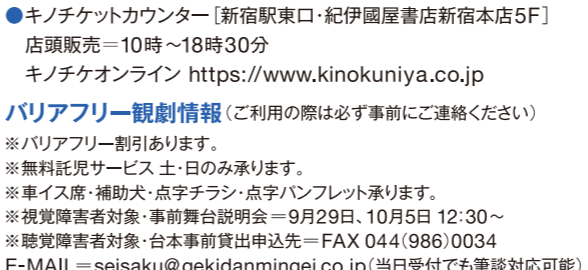
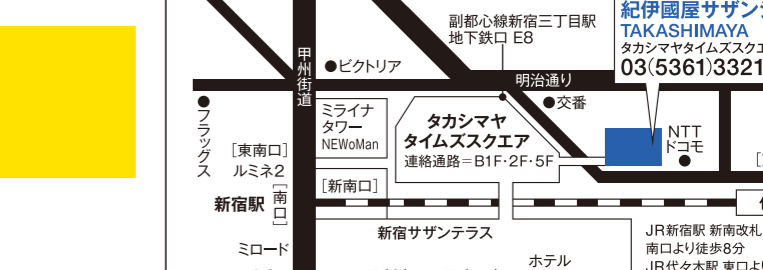
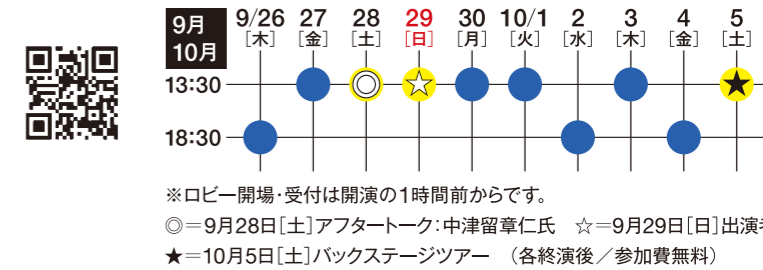
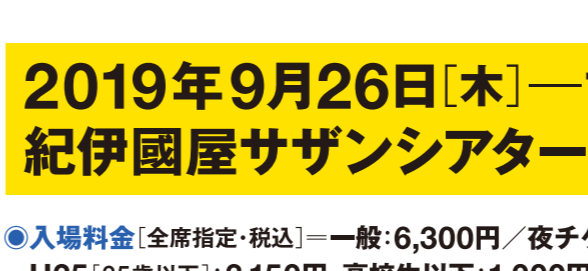
櫻山文枝
 細川ひさよ
 中地美佐子
 金井由妃
 高木理加
 長木 彩
 伊木瑠里
 小杉勇二
 佐々木梅治
 齊藤尊史
 吉岡扶敏
 神 敏将
 本廣真吾
 岩谷優志
 平野 尚
 近藤一輝

異邦人

劇団民藝公演

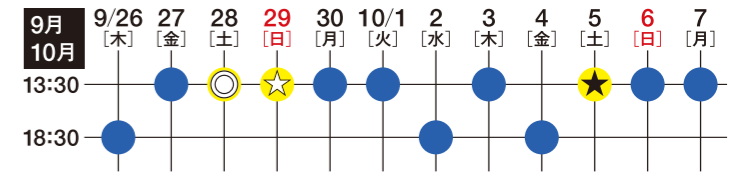
2019年9月26日[木]—10月7日[月]
 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA [新宿南口]

beyond 2020
 助成＝文化庁文化芸術振興費補助金
 (舞台芸術創造活動活性化事業)
 独立行政法人日本芸術文化振興会

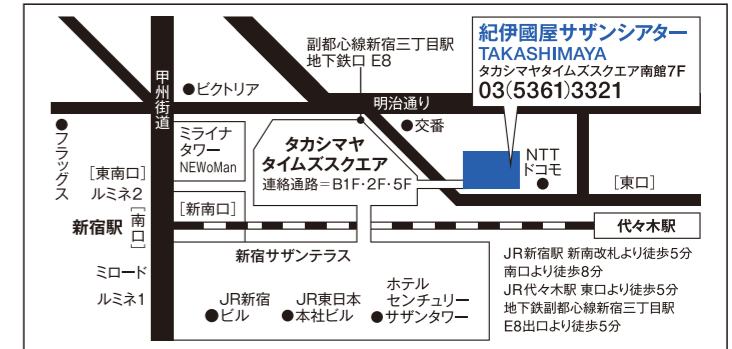


●前売開始＝2019年8月14日[水]より
 2019年9月26日[木]—10月7日[月]
 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA [新宿南口]

●入場料金 [全席指定・税込]＝一般:6,300円/夜チケット:4,200円 [夜公演全席]
 U25 [25歳以下]:3,150円・高校生以下:1,000円 (枚数限定) [劇団のみ取扱い・要証明書]
 ●お申し込み・お問い合わせ
 劇団民藝＝044(987)7711 [月～土 10時～18時]
 劇団民藝青山事務所＝03(3401)5131
<http://www.gekidanmingei.co.jp>
 ●チケットぴあ＝<https://pia.jp/> Pコード 494-888
 セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ店舗
 ●ローソンチケット＝オペレーター対応 0570(000)407 [10時～20時]
 Lコード予約 0570(084)003 Lコード 32104
 ●イープラス＝<https://eplus.jp/>
 ●キノチケットカウンター [新宿駅東口・紀伊國屋書店新宿本店5F]
 店頭販売＝10時～18時30分
 キノチケットオンライン <https://www.kinokuniya.co.jp>
 ●バリアフリー観劇情報 (ご利用の際は必ず事前にご連絡ください)
 ※バリアフリー割引あります。
 ※無料託児サービス 土・日のみ承ります。
 ※車イス席・補助犬・点字チラシ・点字パンフレット承ります。
 ※視覚障害者対象・事前舞台説明会＝9月29日、10月5日 12:30～
 ※聴覚障害者対象・台本事前貸出申込先＝FAX 044(986)0034
 E-MAIL＝seisaku@gekidanmingei.co.jp (当日受付でも筆談対応可能)
 ⇒詳細はHPで
 共催＝一般社団法人劇団民藝



※ロビー開場・受付は開演の1時間前からです。
 ○＝9月28日[土]アフタートーク:中津留章仁氏 ☆＝9月29日[日]出演者との交流会
 ★＝10月5日[土]バックステージツアー (各終演後/参加費無料)



町に外国人労働者がやってきた 変わるのかもしれない

異邦人

作・演出＝中津留章仁

装置＝乗峯雅寛 照明＝宮野和夫

衣裳＝宮本宣子 効果＝岩田直行

舞台監督＝風間拓洋

櫻山文枝

かつて日本は貧しく人びとは肩寄せあつて暮らしていました。それがいまでは最先端のモノがあふれ、それが日常になっています。そしてその世界に誇る日本の技術を学ぶために、いま、アジアの各地から多くの若者たちが日本を訪れています。そんな若者たちを積極的に受け入れたとある地方での物語。私が演じる早苗は、家族で小さな食堂を営んでいます。日本語も覚束ない外国人もやってきます。異文化交流とは言葉でいうほどたやすいものではなく、厳しい現実の中で戸惑いや混乱も後を絶ちません。でも大切なのは心をひらくことだと思えます。中津留さんとの第二作となる本作では、日本社会の明日をみつめながら、たくさんの可能性を問いかけたいと思います。名もない人たちの輝きに希望を託して――。

人口減少、人手不足などを背景に日本で働く外国人は増え続けている。日本にやってくる外国人たち、そして彼らを受け入れる日本人たち、異なる文化を持つ人間同士がふれあい、そこからはさまざまな摩擦や感情がうまれてくる。日本社会で共に生きていく私たちのこれからを探る――。

『籠棒』に続く中津留章仁氏の民藝書き下ろし第二作。

あらすじ●村本早苗(櫻山文枝)と哲夫(小杉勇二)の夫婦は、ある地方の小さな町で食堂を営んでいる。お客は、近くの工場の従業員や近隣の農家や勤め人といった庶民のお客。娘の友紀(中地美佐子)は役場に職を得て、息子の涼太(齊藤尊史)は見習いコックとして哲夫の下で修行中だ。

客足が絶えない店だったが、最近オープンしたばかりのネパール人カレー屋に押され気味。そんな時グエン(神敏将)という名のベトナム人が現れる。「技能実習生」として近くの農家で働いている。彼がつくるベトナムカレーは絶品だった。早苗と哲夫は、新メニューに加える決断をするのだが……。



劇団民藝さんとは二回目のタッグとなりました。本当に嬉しく思います。この作品はある家族の物語を通して技能実習生と日本人との交流を描きます。日本という国の在り方や、これからの日本人の生き方を展望できればと思います。いつでも、決して堅苦しい話ではありません。技能実習生は今、私たちにとって非常に身近な存在だからです。また、今年の四月からは、新たな外国人の受け入れに関する在留資格「特定技能」が施行されました。労働力が不足している今の日本にとって、彼らの存在はすでに欠かせないものとなっています。この題材が演劇になることは、これまでなかったかと思えます。この作品を通じて、皆さまと共に、これからの日本について考えてみたいと思っています。

中津留章仁「なかつる。あきひと」
一九七三年、大分県生まれ。劇作家・演出家。トラッシュユマスターズ主宰。日本劇作家協会副会長。二〇二二年、東日本大震災と原発事故を正面から扱った『背水の孤島』で第十九回読売演劇大賞・選考委員特別賞、同、優秀演出家賞、第四十六回紀伊國屋演劇賞個人賞など受賞。最近の作・演出作品に『埋没』『奇行遊戯』『分岐点』『ぼくらの黎明期』『オルタリテイ』などがある。

中津留章仁

劇団民藝